

大会会場を彩る

メイン会場の福山ニューキャッスルホテルでは、より魅力的な空間となるよう、「ばら」や「福山」を感じることができる物販コーナーの設置やプログラムの提供、装飾などを行いました。

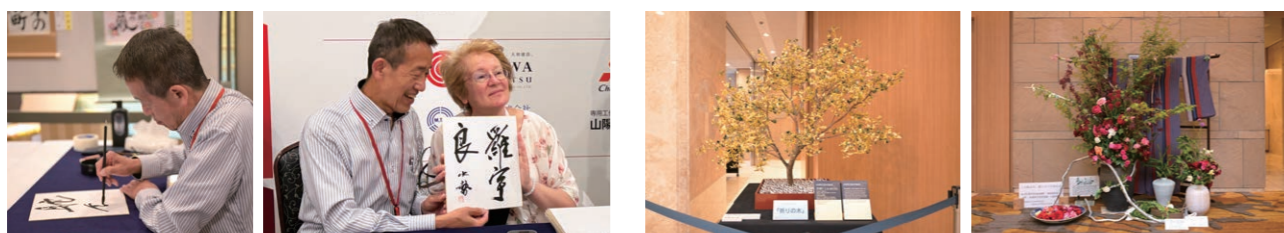
大会参加者は講義の合間などに各コーナーに立ち寄り、お土産の商品を買い求めたり、写真に収めたりしていました。



福山市園芸センター



ばらにちなんだ新商品やグッズの販売



書道 — 海外の名前を漢字で揮毫した色紙をプレゼント

折り鶴、自然の草花を用いた展示装飾



折り紙、折りばら体験コーナー

ばらがデザインされたスポンサーパネルで記念撮影



講義の合間のティーブレイクでの談笑

スポンサーブースでのPR

第21回世界バラ会議
インド・ポーパール大会PRコーナー

こどもたちとの交流

大会最終日の午後、福山市内の小中学校6校の児童・生徒が、手作りの折りばらやメッセージカードの贈呈、ばらのまちづくりに関する学習成果の発表を行うなど、大会参加者と交流しました。



ドイツア

2025.5.20(火)～5.23(金)

世界バラ会議の魅力のひとつは、「開催国ならではのばら」を見たり、その国の文化に触れるツアーです。福山大会では、半日または終日の日程で福山市内・広島県内のばらの名所や文化・平和関連施設を巡る5つのツアーを実施し、4日間で延べ1,170人が参加しました。福山のばらのまちづくりの取組などを紹介し、ツアー参加者からは、特にこどもたちとの関わりや広島・福山のばらと平和の強い結び付きに称賛の声が上がりました。

TOUR A 世羅高原

5.20(火) / 5.21(水) / 5.23(金)

花々に囲まれる魅惑の高原 世羅高原

◆そらの花畑 世羅高原花の森

中四国で初めて、イングリッシュローズをメインとして造られたガーデン。世羅高原で最も標高の高い海拔540mにあり、空へと繋がるような広大な傾斜地に、約150品種・7,000本以上のばらが咲き誇ります。

ツアー参加者は、世羅グルメの昼食を堪能した後、ガーデンデザインを手がけた平岡誠さんのガイドを受けながら、ゆったりとした午後の時間を過ごしました。



現地での昼食は、地元食材を使った世羅バーガーとワイン



ばらの咲き始めを迎えた世羅高原



TOUR B アンネのばら

5.20(火)/5.21(水)/5.23(金)

アンネとの出会い、
湖畔の愛情あふれる手作りばら園巡り

◆ ガーデン富谷

福山市北部の芦田町にある市内最大級の地域花壇。約2,000㎡の面積に約200品種・500本のばらを始めとする植物が咲き誇っています。当日は、庭園の維持管理を行う「ガーデン富谷友の会」のメンバーによるガイドや茶菓子でのおもてなしが行われ、地元の小学校や保育園のこどもたちもツアー参加者との交流を深めました。



湖畔の園路で人力車体験

福山発祥の備後耕で
手作りしたばらのコサージュ

ハイビスカスティーとお菓子の振る舞い



◆ ホロコースト記念館

アンネ・フランクさんの形見として捧げられたばらが植栽されている庭園や、世界約40か国から寄贈されたホロコーストに関する遺品や写真が展示されています。見学者が平和について深く考えるきっかけを与える施設です。

当日は、地元の中高生が館内展示やばら園を紹介しました。



TOUR C 新品種コンテスト

5.20(火)/5.21(水)/5.23(金)

新品種国際コンテストの投票に参加！
風光明媚でのどかなばら園巡りと市民交流

◆ ローズガーデンかなえ

福山市立金江小学校にある花壇。約60品種・350本のばらを児童と地域住民が管理・育成しています。児童と金江学区まちづくり推進委員会ばらチームのメンバーと一緒にばら園を案内すると、ツアー参加者はこどもがばらに携わる姿に感銘を受けていました。



学習の成果を発揮し、英語で花壇を紹介



児童からはポップとハーバリウム、まちづくり推進委員会からは折り鶴(連鶴)をプレゼント

21日(水)には、金江保育所の園児たちも
出迎えに参加しました

◆ 福山市園芸センター

山の傾斜を利用したばら園や瀬戸内海を眺望できる芝生広場が特徴の施設。ツアー参加者は良好な生育状況に感心しながら新品種国際コンテストの審査に一票を投じたり、同コンテスト応募苗の管理を担ったばらのまちづくり部会員や同センター職員と交流したりしました。

また、21日(水)には煎茶も振る舞われました。

お気に入りの応募苗に
一票を投じるツアー参加者

◆ 山陽自動車道福山サービスエリア(上り線)

約80品種・500本のばらが植栽されたばら園。福山ローザリアンクラブが園内を案内しました。サービスエリアを運営するサルボ両備株式会社による茶菓子の振る舞いや福山特別支援学校の生徒によるお出迎え・交流も行われました。



TOUR D 鞆の浦

5.20(火)/5.21(水)/5.23(金)

日本遺産の港町鞆の浦と新緑萌ゆる神勝寺

◆ 鞆の浦

江戸期まで潮待ちの港として栄え、現在も往時の姿を残す町並み。鞆の浦学園の児童生徒と鞆の浦しお待ちガイドが、町の歴史や見どころなどを説明しました。



昼食のサンドイッチを選んでツアーに出発



10人程度のグループに分かれて町並みを散策



ガイドを務めた鞆の浦学園の児童生徒に労いの拍手が送られました

◆ 神勝寺 禅と庭のミュージアム

広大な境内に点在する施設を散策しながら、“禅”とはなにかを感じてもらおう寺院。

ツアー参加者は思い思いに境内を散策し、日本庭園の見学や瞑想を通じて、心に残るひとときを過ごしました。



本堂にある展示館「荘厳堂」には、約200点の禅画・墨跡が展示されています



総門の前でボランティアから説明を受け、境内を自由に散策



アートパビリオン洗庭での瞑想体験や、伝統的な日本建築・庭園を見学



TOUR E 広島市

5.22(木)

平和と文化あふれる“水の都”広島

◆ 広島市植物公園

瀬戸内海を望む高台にある18.3haの広大な敷地内に、中四国最大級の大温室を始めとして、約1万品種・20万本の植物を栽培する多様な温室・庭園を擁する施設。中でもばら園にはモダンローズや世界の野生種など約700品種のばらが咲き誇っており、同園職員の説明を受けながら園内を散策しました。



昼食は世界バラ会議の特別な包装が施されたご当地グルメ・鯛めし弁当

◆ 広島市内 平和関連施設

広島市中心部に点在する平和関連施設を訪問。広島平和記念資料館を見学したほか、平和記念公園や原爆ドーム周辺を散策しました。その後、おりづるタワーから市街地を眺望し、戦後80年の節目に当たって世界の恒久平和に思いを馳せました。

